

2019 年研究業績

(英文論文)

1. Yasuoka H, Garrett SM, Nguyen XX, Artlett CM, Feghali-Bostwick CA. NADPHoxidase-mediated induction of reactive oxygen species and extracellular matrixdeposition by insulin-like growth factor binding protein-5. Am J Physiol LungCell Mol Physiol. 2019:316(4):L644-L655
2. Sakata K, Kaneko Y, Yasuoka H, Takeuchi T. Association of radiographic findings in hand X-ray with clinical features and autoantibodies in patients withsystemic sclerosis. Clin Rheumatol. 2020:39(1):113-118
3. Kato M, Kaneko Y, Tanaka Y, Inoo M, Kobayashi-Haraoka H, Amano K, Miyata M, Murakawa Y, Yasuoka H, Hirata S, Nagasawa H, Tanaka E, Miyasaka N, Yamanaka H, Yamamoto K, Yokota I, Atsumi T, Takeuchi T. Predictive value of serum amyloid alevels for requirement of concomitant methotrexate in tocilizumab initiation: Apost hoc analysis of the SURPRISE study. Mod Rheumatol. 2020 :30(3):442-449
4. Kondo Y, Suzuki K, Inoue Y, Sakata K, Takahashi C, Takeshita M, Kassai Y, Miyazaki T, Morita R, Niki Y, Kaneko Y, Yasuoka H, Yamaoka K, Yoshimura A, Takeuchi T. Significant association between joint ultrasonographic parameters andsynovial inflammatory factors in rheumatoid arthritis. Arthritis Res Ther. 2019:21(1):14

(学術論文)

1. 安岡秀剛.強皮症モデルマウス(Fra-1 過剰発現)の肺高血圧症. Pulmonary Hypertension Update.2019:5(1).46-49
2. 深谷修作、芦原このみ、長縄達明.SLE や MCTD により肺高血圧症.日本臨床.2019:77(7).1147-1154
3. 吉田俊治.混合性結合組織病.日本臨床.2019:77(3)469-474
4. 深谷修作.CTD-PAH 患者において、免疫抑制療法を用いることが推奨されるか？結合組織病に伴う肺動脈性肺高血圧症診療ガイドライン.2019
5. 安岡秀剛.RS3PE Remitting Seronegative Symmetrical Synovitis with Pitting Edema Syndrome.臨床整形外科. 2019:54(12).1266-1269

学会発表 (国内学会)

1. 長縄達明、桑原亜矢子、芦原このみ、平野大介、橋本貴子、西野譲、才藤栄一、深谷修作、吉田俊治、安岡秀剛. 当院の各種膠原病患者における嚥下障害の実態調査. 第 116 回日本内科学会総会・講演会、名古屋 2019 年 4 月
2. 安岡秀剛. 全身性硬化症の早期診断と活動性評価における現状と課題. 第 63 回日本リウマチ学会総会・学術集会、京都 2019 年 4 月
3. 梅田愛、橋本貴子、渡邊奈津子、鈴木雅司、長縄達明、芦原このみ、胡桃沢芽久美、平野大介、西野譲、深谷修作、吉田俊治、安岡秀剛. 抗 MDA5 抗体陽性の皮膚筋炎関連 間質性肺炎の臨床像, 予後の検討. 第 63 回日本リウマチ学会総会・学術集会、京都 2019 年 4 月
4. 鈴木雅司、深谷修作、渡邊奈津子、長縄達明、梅田愛、芦原このみ、胡桃沢芽久美、平野大介、橋本貴子、西野譲、吉田俊治、安岡秀剛. 成人発症スチル病におけるドラッグフリーの達成予測因子の検討. 第 63 回日本リウマチ学会総会・学術集会、京都 2019 年 4 月
5. 長縄達明、吉田俊治、渡邊奈津子、鈴木雅司、梅田愛、芦原このみ、胡桃沢芽久美、平野大介、橋本貴子、西野譲、深谷修作、吉田俊治、安岡秀剛. 全身性強皮症患者における簡易嚥下評価票を用いた嚥下障害の評価. 第 63 回日本リウマチ学会総会・学術集会、京都 2019 年 4 月
6. 平野大介、深谷修作、渡邊奈津子、鈴木雅司、長縄達明、梅田愛、芦原このみ、胡桃沢芽久美、橋本貴子、西野譲、吉田俊治、安岡秀剛. 当科における抗 TIF-1 γ 抗体陽性炎症性筋炎患者の臨床的特徴についての検討. 第 63 回日本リウマチ学会総会・学術集会、京都 2019 年 4 月
7. 渡邊奈津子、橋本貴子、鈴木雅司、長縄達明、梅田愛、芦原このみ、胡桃沢芽久美、平野大介、西野譲、深谷修作、吉田俊治、安岡秀剛. 高度の脳血流障害を伴う高安動脈炎に対し, 寛解導入療法開始時よりトシリズマブを併用し有効であった 1 例. 第 63 回日本リウマチ学会総会・学術集会、京都 2019 年 4 月
8. 武井江梨子、鈴木勝也、仁科直、安岡秀剛. 間質性肺炎合併原発性シェーグレン症候群における臨床像の検討. 第 63 回日本リウマチ学会総会・学術集会、京都 2019 年 4 月
9. 田中良哉、小池隆夫、宮坂信之、三森経世、竹内勤、平田信太郎、田

中榮一、安岡秀剛、金子祐子、村上孝作、古賀智裕、中野和久、天野宏一、牛尾一康、渥美達也、猪尾昌之、八田和大、水木伸一、長岡章平、角田慎一郎、土橋浩章.インフリキシマブによるプログラムドコントロール治療で導入された関節リウマチの寛解維持に関するランダム化比較試験(RRRR Study)における結果報告. 第 63 回日本リウマチ学会総会・学術集会、京都 2019 年 4 月

10. 安岡秀剛、坂田康明、吉本桂子、竹内勤. 活性型血小板は関節リウマチの活動性バイオマーカーである.第 4 回日本骨免疫学会、沖縄 2019 年 6 月 26 日
11. 橋本貴子、澤田茉莉加、渡邊奈津子、鈴木雅司、長縄達明、梅田愛、芦原このみ、胡桃沢芽久美、平野大介、西野譲、深谷修作、吉田俊治、安岡秀剛.TCZ2 週間隔投与の効果不十分例および高疾患活動例に対する短縮投与の有効性の検討. 第 4 回日本骨免疫学会、沖縄 2019 年 6 月 26 日
12. 安岡秀剛. 膠原病合併肺高血圧症における borderline 症例.第 4 回日本肺高血圧・肺循環学会、浜松 2019 年 6 月 21 日
13. 長縄達明、西野譲、澤田茉莉加、渡邊奈津子、鈴木雅司、梅田愛、芦原このみ、胡桃沢芽久美、平野大介、橋本貴子、深谷修作、吉田俊治、安岡秀剛. 多発血管炎性肉芽腫症の経過中に四肢皮下膿瘍と手屈筋腱鞘滑膜炎を来した播種性 *Mycobacterium marinum* 感染症の 1 例. 第 31 回中部リウマチ学会、新潟 2019 年 9 月 27 日・28 日
14. 安岡秀剛. 膠原病合併肺動脈性肺高血圧症(CTD-PAH)の早期診断・治療の最新知見. 日本内科学会東海支部第 75 回生涯教育講演会、岐阜 2019 年 10 月 6 日
15. 長縄達明、西野譲、芦原このみ、平野大介、橋本貴子、深谷修作、吉田俊治、安岡秀剛. *Mycobacterium marinum* による四肢皮下膿瘍と手屈筋腱鞘滑膜炎を来した多発血管炎性肉芽腫症の 1 例.第 239 回日本内科学会東海地方会、岐阜 2019 年 10 月 6 日
第 75 回日本内科学会東海地方会、岐阜 2019 年 10 月 6 日
16. 梅田愛、芦原このみ、平野大介、橋本貴子、西野譲、深谷修作、吉田俊治、安岡秀剛. 抗 MDA5 抗体陽性の皮膚筋炎関連間質性肺炎の臨床像、予後の検討. 藤田学園医学会、2019 年 10 月 3 日

17. 鈴木雅司、深谷修作、長縄達明、梅田愛、芦原このみ、平野大介、橋本貴子、西野譲、吉田俊治、安岡秀剛. シェーグレン症候群(SS)に合併したステロイド抵抗性蛋白漏出性胃腸症(PLGE)の1例. 第240回日本内科学東海地方会、名古屋 2020年2月16日